

報告事項 カ

郷土作家展「海の刻 古市義二・岸本章」の開催について

郷土作家展「海の刻 古市義二・岸本章」の開催について、別紙のとおり報告
します。

平成20年12月18日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

郷土作家展「海の刻 古市義二・岸本章」の開催について

展覧会名	郷土作家展「 ^{うみ} 海の刻 ^{とき} ^{ふるいちよしじ} 古市義二・ ^{きしもと} 岸本 ^{あきら} 章」		
会期・会場	平成21年1月12日(月・祝)～1月25日(日)	鳥取県立博物館	
	1月31日(土)～2月15日(日)	米子市美術館	
	2月21日(土)～3月8日(日)	倉吉博物館	
主催	鳥取県立博物館、倉吉博物館、(財)米子市教育文化事業団(米子市美術館)		
協賛	株式会社 吉備総合電設		
入場料	一般400円(団体200円)		
概要	県内を拠点に制作活動を行っている郷土作家とその作品を広く県民に知っていただくため、平成15年度から開催している郷土作家展。6回目となる本年は、倉吉市在住の彫刻家・古市義二氏と鳥取市在住の日本画家・岸本章氏の作品を展示紹介する。		
展示内容	古市義二の彫刻作品17点、岸本章の日本画作品25点 計42点		

出品作家について

作家名	概要
古市 義二 (倉吉市在住の彫刻家)	大正14年、東伯郡赤碕町(現琴浦町)生まれ。木彫を彫刻家・ ^{むらかみへいじん} 村上炳人に学び、全国規模の公募展・二紀展および関西二紀展に出品、受賞を重ねる鳥取県を代表する彫刻家のひとり。
岸本 章 (鳥取市在住の日本画家)	昭和26年、鳥取市生まれ。後の日本芸術院会員の日本画家・ ^{かわさきはるひこ} 川崎春彦に師事し、日展に出品を続ける。「第4回菅橋彦大賞展」大賞等を受賞する鳥取県を代表する日本画家のひとり。

【参考】これまでの出品作家

年度	作家名(分野)	
H15	西垣 風江(日本画)	越野 邦夫(洋画)
H16	長谷川 富三郎(版画)	
H17	八橋 誠滋(洋画)	渡里 彰造(写真)
H18	角 護(洋画)	石谷 孝二(彫刻)
H19	柴山 抱海(書)	山本 浩彩(陶芸)



古市義二《海風に乗ってゆこう》
(琴浦町カウベルホール蔵)

関連事業

(1) 開会式

平成20年1月12日(月・祝)10:00～ 鳥取県立博物館

(2) アーティストトーク(出品作家による展示解説)

平成20年1月12日(月・祝)10:30～ 鳥取県立博物館

1月31日(土) 14:00～ 米子市美術館

2月21日(土) 14:00～ 倉吉博物館



岸本章《鯨と少年》(倉吉博物館蔵)